



発行所 名寄市徳田204番地1
 北海道名寄高等学校同窓会
 事務局 TEL 01654-3-6842
 FAX 01654-3-6841
 発行人 会長 山崎博信 (名高4期)
 印刷所 (株) 北方印刷所

「ごあいさし」

北海道名寄高等学校 同窓会会長

(名高4期) 山崎 博信



旧名中・旧名高女・名高同窓生の皆さまこんにちは。

今春三月も、母校が進学校としての面目を、賢明なる後輩の実直なるガンバリにより功を奏しております。

その裏側には先生方の「ケジメ明白な指導」が「ガッチリとけじめをつけている」ことが確実です。

というのは、私が、先生方の歓送迎会に招かれて「トキを過ぎ二時間余」が、お膳立てをされる先生がたの「スバラシイプラン」の「授業の計画・進度表」と裏表、イヤ同等に展開され、「しっかりと根付く授業」として功を奏しているのだと、信じています。

私も母校の「夜間定時制」で第一歩を踏み出し、士別商業そして名寄工業に籍を置く傍ら、名寄農業、智恵文にあった「名寄北高」にも勤めさせて戴きました。現在は学校法人山崎学園の理事長、光名寺の住職ですから、文字どおり「十職」……。今後ともよろしくお願ひします。

同期会だより

名高9期同期会

成田 長利

つい最近まで“古い”ということを感じることもなく今日まで生きて来た。気がつけば“喜寿”そんな年令になったのかなあ、と思う。

学舎を巣立ってから五十七年、無理もないことと思う。この同期会も始めは一部のクラス会から始まり、卒業してから二十五年を経た時点で全体の同期会となったところである。

以来今日まで地元名寄地区をはじめ旭川地区、札幌地区と三地区で持ち回りでの開催となり当初は五年毎であったが途中から三年毎となり、今回で十回目の開催となった。又これとは別に関東地区での同期会もあり毎年開催され、今年で三十六回目の開催予定と聞いております。人間いくら年を重ねても机を並べた仲間の絆は親子との絆と同様に切っても切れない貴重で忘れてはいけないものであることをあらためて感ずるところです。

今回の同期会は六月十八日、十九日に層雲峡温泉ホテル大雪で開催された。病院と薬と仲よしになりながら六十余名の出席を

得、遠くは長野県、東京都、神奈川県、千葉県からの参加を得てなごやかな中にも盛大に開催された。同期会は開会に先立ち高井正喜君の詩吟でスタートした。彼はこの同期会のために漢文で詩をつくり、節をつけ、東にピヤシリ山、西に天塩川の清流、古郷名寄の想いを吟じた。自作自演である。



「名寄高等学校 第9期同期会生（喜寿の集い）」於 層雲峡ホテル大雪 平成26年6月18日

志水智江さんの幹事代表挨拶で会場は一気に盛りあがった。長野県から参加した久保忠英君の乾盃で懇親歓談に入り旧友との親交を深めた。今までゲームを取り入れたことのない同期会であったが、今回初めてビンゴゲームを取り入れ、景品(賞金)に一喜一憂。ホテルの好意で三十分延長して最終同期会は森川一保君の一本へにて無事その幕を閉じた。

懇親懇談終了後はそれぞれ部屋を移動、囲碁を楽しむ者、宿泊室にて親交を深める者、更にスナック・アーバンにてカラオケを楽しむ者に分かれ楽しんだ。特にカラオケ会場には四十数名も参集し、始めのうちには遠慮していたのか、なかなかステージへ上がらずにいたが、時が経つうちに次から次へと唄い出し、大いに盛りあがった。

翌十九日は朝食後、名寄市内周遊のため迎えに来ていた川原観光のバスに一足早く参加者と別れ、約半数の三十名近くが九時にホテルを出発。名寄へ名残りを惜しむように出発。残された同胞は送迎バスにて十時にホテルを後にした。

参加者とはほぼ同数の六十四名の同胞物故者に対し黙禱、校歌斉唱は在学以後初めての佐藤桂子さんによるピアノ伴奏、佐野義弘君の指揮で参加者一同大きな声での斉唱。



名寄高校白楊館での見学の様子

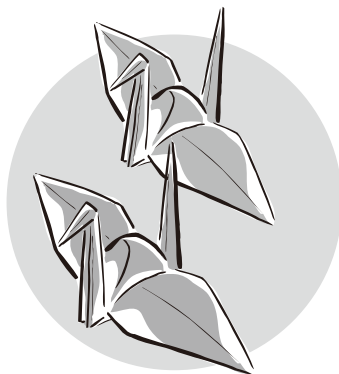
名寄では最初に母校名高を訪問。校舎では校長先生、教頭先生の出迎えをいただき、早速校舎内へ向かう。授業中であつたため全校舎を見ることはできなかったが、教頭先生の熱心で心温まる案内で一同大感激。校舎前にて集合写真を撮影。後日、学校より集合写真が送付され、更に感激。恐縮しております。



校舎内見学の様子

そのあと市立博物館を見学、昼食後、市立天文台を見学。この天文台は恩師木原先生が自費でスタートして、その後名寄市に寄贈し、現在の天文台となったものである。望遠鏡は全国でも有数の物であるといわれております。両施設共、係員の熱心な親切きわまる説明をいただき、参加者大いに感動したものである。その陰には高田護君の功労も見逃せないと思います。同期会を終えてふり返って見ると、通学して頃がつい最近の出来事のように思い出される。特に一クラス五〇人であつたため、教室内が狭かつたこと、特に冬期は、石炭ストー

ブであつたので、その周囲だけが暖かく離れたところは寒かつたこと、生徒玄関が体育館に併設のため教室まで遠かつたこと、トイレが水洗ではなく教室から離れていたこと、等校舎にはあまり恵まれていなかったことは現在の校舎を見るとき時の流れを感じます。そんな環境のもとでも先生方は熱心に、そして親切に私達を導いてくれた。その先生方も多くが高齢となり、更に他界されたと聞き、再開もままならぬ今日、私共も高齢者の仲間入りをして老いも感じます。同胞も多くが体調を崩して治療している人が多くなっている全体の同期会は終了しましたが、今後は各地区において規模は小さくなりますが一度でも多く仲間との集まりの機会をつくり、お互い励まし合い、親交を深め悔いのない余生を送りたいものと思う。拙文乞許。



名高22期同期会

45周年同期会

7月12日に名高22期卒業45周年同期会を、60名弱の参加者で開催しました。私達の同期会はほぼ5年ごとに開催してきましたが、3年前に齢還暦同期会も行つたので、その間隔が短くなりました。当日は台



風などの影響もありましたが、本州中部以北からの参加者や卒業以来の参加者などあり、毎回新たな深交の場をもつことができました。

当時のA組担任で札幌在住の熊澤英昭先生も駆けつけてくださり、現役時代と変らぬお元氣な姿をみせてくださいました。

宴会場のグランドホテル藤花では、クラスごとに自己紹介や卒業アルバムから作成したDVDの上映など、若き日の想いに懐かしさがあふれていました。

宴会の最後には恒例の校歌と応援歌の合唱でその場を締めくくり、続いてほぼ全員が二次会の紅花会館へと移動しました。そこでも久しぶりに会う同輩と24時まで呑み語りをしていましたが、豪の者は深夜3時まで故郷の街を徘徊していたようです。

翌日はホテルのバスにより移動し、名高祭の見学に訪れました。私たちの学び舎から3代目になる校舎にある、同窓会館の「白楊館」で同窓会事務局担当の先生から、現在の名高生の進路、部活動の現況をお聞きした後、現役の高校生に学校祭展示の案内をしていただきました。自分の親御さん以上の年齢の先輩に丁寧な説明をしてもらい、本当に感謝でした。



白楊館での説明の様子



学友会の生徒による校舎案内の様子

その後3年間のうちに新しくなった場所や、変った所をバスで巡り市内観光を行いました。当時の住居や友人宅などを見つけて懐かしさの声をあげていました。

私たちの期は卒業20周年時と30周年時には、行灯を作成して現役生と一緒に行灯行列に参加した経緯があります。残念ながら今は体力的にかなり難しい事もあり、現在は新たな同期会の定番でもある、翌昼食のバーベキューを市役所向かいの雪明かり館で行い、40名以上の参加で昨夜の続きを満喫していました。その後楽しい青春時代に還った時も終わり、また普段の生活にそれぞれが戻っていきましたが、次回の同期会を65歳時にしてほしいという声があり、地元の同期会幹事として検討中であります。

毎回名高祭頃にあわせての同期会ですが、今回は校長先生はじめ教頭先生、同窓会担当の先生や生徒達に大変お世話になりました。紙面をおかりして御礼申し上げます。ありがとうございます。



名高41期同期会

卒業後25年ぶりの再会

平成26年8月16日、グランドホテル藤花において第41期の同期会が行われました。これまでクラス会などの集まりはあったものの、同期(学年)全体でのものは平成元年3月の卒業以来初めて、実に卒業後25年が経過する中での開催となりました。

この同期会は、昨年末の同級生からの一本の電話から始まりました。「今年同期会やつたつて聞いたけど…案内が来なかったけど…」ただ、その同期会は東中学校のもので勘違い。その後、電話をくれた彼は仕事で名寄市を訪れた際「同期会開いて！」と、市役所関係で働くすべての同級生の職場を訪れました。

時は2月に開催された「戊年会」。発起人会の準備会として同級生が集まり、大まかなスケジュールなどを決め、市内居住者のピックアップ・発起人の依頼の後、4月から正式な発起人会としての開催に向けた準備を開始しました。卒業してから25年、この時間は大変大きなものでした。準備を開始して以降、一番重く

のしかなかったのは「どこに住んでいるのかわからない」ということでした。住所が不明な方は、高校時代に仲の良かった友達に連絡をとり、手練り寄せていきましたが「友達の友達はみんな友達」のようにはいかず、最終的に住所を把握できたのは8割程度にとどまってしまうました。

開催当日は、懇親会に先立ち、日中の

時間帯に「名寄市内バスツアー」を開催しました。25年という月日は名寄市内の様相も大きく変え、名寄高校も建て替えとなり、通学路の様子や駅前をはじめ公共施設も新しくなり、さらには卒業した小学校も。コースに組み込んでいたサンピラーパークのひまわり畑が8月の大雨で残念な状況となっており智恵文地区へコース変更するなどありましたが、予定時間を大きく超えて市内各所を回ったこともあり、特に本州に就職した仲間たちには大好評でした。

18時からの懇親会には案内できた方の約半数の74名に出席いただき、恩師からの言葉や高校生時代の写真を基にしたスライド上映などにより、高校生時代の話に華を咲かせ、大変有意義な同期会となりました。その後も2次会には69名、3次会には47名に参加いただきました。3次会が終了したのは2時30分頃。30名以上が「次どこに行けばいい?」。幹事にとってはうれしいことですが、残念ながらその時間に30名を収容できるお店がなく、グループに分かれて繁華街に姿を消し、年齢を忘れて朝まで飲み明かしたグループもあったようです。

44歳となる今年、もうすでに3名の同級生が逝去されており、大変悲しい事実を知るきっかけにもなりました。今回の同期会を通じて、25年ぶりに再会した仲間、同じ県内に住んでいることがはじめてわかったという仲間…。ただ、この25年という月日も同期会という再会の場で一気に吹き飛んでしまう一面もあり、あつという間に高校生時代の関係性に戻ってしまいました。

平成25年度 合格者一覧(延べ数)

〈国立大学〉		〈専門学校その他〉	
学校名	合格者数	学校名	合格者数
北海道大学	2	上川北部医師会附属看護学院	1
道教育大 旭川校	2(1)	道立旭川高等技術専門学校	1
岩見沢校	1(1)	旭川福祉専門学校	2(2)
旭川医科大学	1	札幌医療秘書福祉専門学校	1(1)
室蘭工業大学	3(2)	札幌観光ブライダル製菓専門学校	1(1)
北見工業大学	1	札幌医学技術福祉歯科専門学校	1
名寄市立大学	6(5)	北海道情報専門学校	3(2)
釧路公立大学	1	北海道ハイテクノロジー専門学校	1(1)
弘前大学	1	北海道メディカル・スポーツ専門学校	1(1)
山梨大学	1	北海道美容専門学校	3(3)
青森県立保健大学	2	吉田学園医療歯科専門学校	1(1)
計	21(9)	吉田学園情報ビジネス専門学校	1
		経専調理製菓専門学校	1(1)
		日本福祉看護・診療放射線学院	1
		大原法律公務員専門学校	1
		札幌デザイナー学院	1
		青山建築デザイン・医療事務専門学校	2(1)
		経専医療事務薬業専門学校	3(3)
		北海道芸術デザイン専門学校	2
		札幌スクールオブミュージック専門学校	1(1)
		エコール辻東京	1(1)
		文化服装学院	1(1)
		日本航空専門学校	1(1)
		計	33(21)
		〈準大学その他〉	
		学校名	合格者数
		北海道職業能力開発大学校	2
		ヒューマン国際大学機構	1
		計	3
		〈公務員〉	
		就職先	合格者数
		名寄市職員(事務)	2
		士別市職員(事務)	2
		士別市職員(消防)	1
		美深町職員(事務)	1
		美深町職員(消防)	1
		旭川市職員(事務)	1
		北海道職員(一般事務)	1
		北海道警察	3
		自衛隊	15
		上川北農業共済組合	1
		美容室	1
		菊地農場	1
		計	30
		〈私立大学〉	
		学校名	合格者数
		北海学園大学	10(1)
		北星学園大学	2
		札幌大学	4
		札幌学院大学	5
		藤女子大学	3(1)
		北海道薬科大学	1(1)
		北海道医療大学	9(1)
		北海道科学大学	18
		北翔大学	5(3)
		日本医療大学	1(1)
		日本赤十字北海道看護大学	1
		天使大学	3(1)
		北海道情報大学	1
		桜美林大学	1
		中央大学	1(1)
		創価大学	1(1)
		日本体育大学	2
		文教大学	1
		北陸大学	1
		花園大学	2
		京都橘大学	1
		天理大学	1
		アメリカニューヨーク州立	1
		ジェネシーコミュニティカレッジ	
		計	75(10)
		〈短期大学〉	
		学校名	合格者数
		名寄市立大学短期大学部	4(3)
		旭川大学短期大学部	10(1)
		北翔大学短期大学部	6(3)
		北海道武蔵女子短期大学	1
		光塩女子短期大学	1
		上智大学短期大学部	1
		計	23(7)
		〈高等看護学校〉	
		学校名	合格者数
		道立旭川高等看護学院	1
		道立紋別高等看護学院	3
		砂川市立病院附属看護専門学校	1
		滝川市立高等看護学院	2
		市立小樽病院高等看護学院	1
		市立室蘭看護専門学校	1
		旭川厚生看護専門学校	1(1)
		釧路労災看護専門学校	1
		駒沢看護保育福祉専門学校	4
		日鋼記念看護学校	2
		北海道ハイテクノロジー専門学校	1
		計	18(1)

名寄高校の取り組み

MEP

高校生という時期は、勉強や部活動に励み、大切な仲間を作りながら大人になるための準備の時期なのかもしれません。そうした大切な時期をともに過ごした仲間たちが全道・全国各地で頑張っていることを実感し、こうした仲間がいかに大事な存在であるかを改めて感じさせるのがこの同期会だったような気がします。今後は集まりやすい地域別に同期会を開催しながら、何年かに一度全体の同期会を開催していきたくと思っています。

最後に、夏休み中、それもお盆という公私ともにお忙しい中にも関わらず学校の案内をいただいたた島影先生をはじめ、準備にお力添えをいただいた学校関係者の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

(第41期同窓会発起人会事務局 佐藤)

また、MEP委員だけではなく、希望のMEPフレンズやMEPリーダーを中心とした交流・発表等、様々な英語活動を行っています。

北海道高等学校学力向上推進事業

Bモデル国語推進校

北海道高等学校学力向上推進事業は北海道教育委員会を主体とし、全道の高校生の学力向上を目指して、平成25年からスタートしました。

本校は平成23・24年度の「確かな学力を育む高校教育推進事業(国語)」の研究・実践が評価され、平成25年度にスタートした北海道高等学校学力向上推進事業のBモデル国語推進校として指定されました。

Bモデルとは「ベアシック」の意味で、概ね国公立大学進学を希望する生徒がいる高校のことです。また、推進校とはこのBモデルの中心となる学校で、このほかに全道に協力校が3校あります。

本校の生徒の学力向上はもろろんのこと、全道の高校生の国語の学力を向上するために、研究や授業実践を行っています。

国語科のみならず、他の教科も少しでも質の高い授業を生徒に提供できるように、日々研鑽に励んでいます。

今後とも、本校の教育活動にご理解とご支援のほどをよろしくお願致します。

平成二十五年度
名寄高校同窓会総会・懇親会実施される

総会・懇親会が盛会のうちに終了

平成二十五年度名寄高校同窓会・懇親会が去る平成二十五年十月十一日(金)、グランドホテル藤花において約百二十余名の参加を得て盛大に行われ

ました。総会については、山崎博信同窓会長、丸山年民校長の挨拶の後、議事に移りました。二十四年度の各報告、二十五年度

の計画等、全ての議案が承認され、無事に総会を終えることができました。参加していただきました会員の皆さまのご理解とご協力に心より感謝いたします。総会後の懇親会は、当番幹事である高二十九期、三十九期、四十九期の方々のご尽力で盛会に行われました。協賛いただきました各商社様には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。



挨拶をする丸山校長



挨拶をする山崎同窓会長



乾杯の御発声の山森札幌支部長



来期の当番幹事を紹介する猿谷幹事長



総会司会の金子さん



松嶋当番幹事長

平成25年度 協賛商社一覧 敬称略順不同

- | | |
|-------------|-------------|
| 青野海産物店 | サバト家具店 |
| 定木税理士事務所 | 黒川商店 |
| 東洋製麺 | 村西運輸 |
| ばらドライクリーニング | 北星信金 |
| 木賀商店 | 宮崎靴・スポーツ店 |
| 池田薬局 | アキ写真館 |
| いろは肉店 | かまくん本舗 |
| 石田商店 | 吉川印刷 |
| 志水商店 | スタジオ稲場 |
| ベスト電器駅前店 | 喜信堂 |
| 松前陶器店 | 喜多印刷所 |
| 鈴木写真館 | (株)坂下組 |
| 須摩スポーツ | 倉澤組 |
| 北海道電力 | 北方印刷 |
| カメラの写楽 | 清水金物店 |
| 東洋肉店 | 新光電気 |
| グランドホテル藤花 | 柴田時計店 |
| 湯川名文堂 | 森実商店 |
| 喫茶 ブラジル | 梅野博新事務所 |
| 大野組 | 辻薬局 |
| 北昭産業 | ダスキン滝沢 |
| 昭和産業 | 三津橋農産 |
| まごころ弁当 | (有)アフター名寄支店 |
| (株)振興公社 | なよろ温泉サンピラー |



最後に締めをいただいた名取先生



懇親会でのコマ



「あいきり」

名寄高等学校同窓会事務局長
(名高三十六期) 島影 論

私は平成二十三年四月に名寄高校に赴任しました。私は高校を卒業してすぐに名寄を離れたので、約三十年ぶりに名寄に戻って来たことになりす。三十年ぶりの名寄は懐かしいと思う反面、どこか居心地の悪さを感じました。

私が小学生の頃、家の近くに空き地がありました。その空き地で、毎日友だちと日が暮れるまで遊んでいました。家の周囲の道路は砂利道で、道端には雑草が茂っていました。ちよつと足を伸ばせば川があり、裸足になって川遊びができましたし、魚釣りもできました。いろいろな部分で私知っている名寄とは違う部分がありました。もちろん、それは悪いことではありません。それらは安全で快適な生活をもたらすものですから、当然その変化は歓迎されるべきものでしょう。同じように、三十年間をかけて私も変わりました。大学へ行き、教員になって稚内高校と北広島高校に勤務しました。そこで、いろいろな生徒に出会い、多くの先生方にも出会いました。その出会いは私にさまざまなことを教えてくれました。いろいろな考え方や価値観に気づき理解したり、その土地の風土や習慣などに半ば染まりながら、私自身も変わりました。体型も少し変わりましたし、体質も変わりました。以前は白樺の花粉に悩まされることなどなかったのですが、毎年春になると花粉症に悩まされ、桃もアレルギーのために食べることができなくなりました。いいことばかりではなく、それが進歩とか成長と呼べるものであるかどうかは分かりませんが、三十年という月日は私を変えるには十分な長さでした。

しかし、それだけでは名寄に帰ってきたから、居心地の悪さを感じることはなかったでしょう。「町も人も30年も経てば変わる」と納得できたなら、居心地の悪さは感じませんでした。私が感じた居心地の悪さはその「変化」の対極にある「変わらないもの」のせいでした。全てが変わってしまったのではなく、「変わらないもの」がそこには存在していません。私と私とが相変わらず「名寄」であつたり、「私」が相変わらず「私」であるという部分がそこには確かに存在しているのです。私が赴任した名寄高校は私知っている「名寄高校」ではありませんでした。でも、明かりは蠟燭ではなかったけれど、行灯行列は続いていましたし、生徒会のことを「学生会」と呼ぶのも変わっていませんでした。恐らく、学校の中だけではなく、名寄の町の中にも変わっていない部分を多く見つけ出すことができるでしょう。

私の居心地の悪さはこの「変化した名寄」と「変わらない名寄」、「変化した私」と「変わらない私」が突然、私の目の前に同時に現れ、どうにも整理がつかなかったからだと思います。しかし、この居心地の悪さは、私に大切なものを気づかせてくれたように思います。「変わるもの」と「変わらないもの」があり、それぞれが大切です。今ある現状に満足することなく、少しでも良いものを目指そうと思うなら、成長したり、進歩した

りすることが必要です。何かしら変化しなければならぬ。

でも、その一方で、変わってはいけなないものがあります。この変わってはいけないものは引き継ぐ者が必要です。高校で言えば、この伝統を引き継ぐ担い手が同窓会ではないかと思つています。学校においてはもちろん、主役は生徒です。しかし、生徒だけでは、あるいは教員だけでは十分な教育活動はできません。多くの方々と、名寄高校を名寄高校たらしめている確たる基盤が生徒を支えてくださつていて感じています。その支えがあつてこそ、生徒は伸び伸びと学習活動や部活動に真剣に取り組めるのだと思つます。

しかし、私はこういう立場にいて、居心地の悪さを感じたりしながら、同窓会という組織の大きさや存在感を日々感じています。高校生はなかなかそういった機会がないように思います。また、逆に、同窓生の皆様が高校生の活動について知る機会もそう多くないように感じます。私が事務局長を命ぜられたのは、この両者の橋渡しをしなさいということなのだろうと理解しています。微力ながら、同窓会と名寄高校の発展に寄与できるように力を尽くしたいと思つています。最後にはなりましたが、事務局長一年目というところで、仕事の手際も悪く、同窓生の皆様にはご迷惑をおかけしております。特に、この会報に関しましては、発行予定日を大きく遅れてしまい、誠に申し訳ありませんでした。深くお詫び申し上げます。

同窓会報第48号の原稿募集

平成27年7月25日発行予定の同窓会報48号の原稿と広告を募集しています。会報の掲載内容は、同窓会各員や各支部地区役員、同窓生個人の原稿、旧職員、原稿、支部だより、同期会だより、同窓生の活躍状況などがあります。

寄稿先は事務局(〒096-0071名寄市宇徳田204 名寄高校同窓会 01654-36841 名寄高校 島影)までご連絡ください。原稿は各自のパソコンで作られたものでも、手書きでもかまいません。写真は使用後に返却いたします。

今後も、同期会だよりや同窓生の活躍状況などを積極的に掲載させていただきます。と考へておりますので、ご協力をよろしくお願ひします。

平成26年度及び27年度総会日程

今年度(平成26年度)の本部総会・懇親会は、平成26年10月10日(金)18時30分からランドホテル藤花で開催されます。当番幹事は、名高30期、40期、50期の方々です。

また、来年度(平成27年度)は名高31期、41期、51期の方々による当番幹事で、平成27年10月9日(金)18時30分からランドホテル藤花で開催される予定です。